

平成 13年 4月 27日

各 位

会社名 東京製網株式会社
代表者名 取締役社長 上西 準
(コード番号 5981 東証第1部)
問合せ先 総務部長 誉田 安信
(TEL. 03-3211-2851)

特別損失の発生、業績予想の修正並びに有価証券含み損について

記

[] 特別損失の発生について

当社は、東京製網グループの生産態勢再構築に取り組んでおりますが、生産集約に伴い、次のとおり特別損失が発生する見込みとなりましたので、お知らせいたします。

- | | |
|------------------|--------|
| 1. 生産態勢再構築費用(単独) | 357百万円 |
| 2. 生産態勢再構築費用(連結) | 760百万円 |

[] 通期業績予想の修正について

平成13年3月期(平成12年4月1日~平成13年3月31日)の業績予想については、平成13年3月14日発表の業績予想を下表のとおり修正いたしますので、お知らせいたします。

1. 当期の業績(単独)予想数値の修正(平成12年4月1日~平成13年3月31日)
(単位;百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A)	60,000	500	20
今回修正予想(B)	60,000	750	20
増減額(B-A)	0	250	0
増減率(%)	0	50.0	0
(ご参考)			
前期実績(平成12年3月期)	63,438	935	438

2. 当期の連結業績予想数値の修正（平成12年4月1日～平成13年3月31日）

（単位；百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	89,000	1,000	300
今回修正予想（B）	89,000	1,250	350
増減額（B - A）	0	250	50
増減率（%）	0	25.0	16.7
（ご参考）			
前期実績（平成12年3月期）	94,710	1,669	330

3. 修正の理由

単独につきましては、鋼索鋼線部門の売上は減少いたしました。開発製品部門の落石防護製品の工事込物件が順調に完工したことに伴い、経常利益が前予想を上回る見通しとなったため修正を行うものです。

なお、前記のとおり特別損失に生産態勢再構築費用を計上するため、当期純利益の修正はありません。

連結につきましても、連結決算財務諸表提出会社（当社）の業績予想の修正に伴い修正を行うものであります。

〔 〕平成13年3月期末の有価証券含み損について

当社では、全ての保有有価証券の評価について原価法を採用しておりますが、平成13年3月期末における有価証券の含み損を算出いたしました結果、その総額が下表のとおりとなりましたので、お知らせいたします。

(A)平成13年 3月期末の有価証券含み損の総額	3,318百万円
(B)平成12年 3月期の経常利益額 (A / B × 100)	935百万円 (354.9%)
(C)平成12年 3月期の当期純利益額 (A / C × 100)	438百万 (757.5%)

（注）1. 当該含み損は、子会社の株式を除く取引所相場のある有価証券のみを対象（店頭売買有価証券その他の時価を合理的に算定できる有価証券についてはその対象に含めておりません）としております。

2. 対象有価証券の帳簿価額 12,656百万円
時 価 9,338百万円

(ご参考)

1. 当社の決算期末は、3月31日であります。

2. 平成13年3月期末決算における有価証券の含み益及び差引き含み益は以下のとおりです。

(D)平成13年3月期末の有価証券含み益の総額	432百万円
(E)平成13年3月期末の有価証券差引き含み益の総額(D - A)	2,885百万円

以 上